

第2回 理事会議事録（案）

平成15年9月17日(水) 於：水前寺共済会館

出席者 会長：原口 事務局長：仲光 (研究部長：大岩 研究部会へ出席)
 理事：池田恵(荒玉) 池田義(鹿本) 児島(菊池) 藤本(阿蘇) 軒口(熊本)
 井手上(上益城) 山崎(宇城) 片山(八代) 深水(人球) 田中(水葦)
 松崎(天草)
 事務局員：岩下、西(総務) 牛島、高田(会計) 入江、山口(事業)

(午前中：合同役員会)

1 開 会

熊本県教育弘済会から助成金交付式

2 会長挨拶

3 経過報告

6月5日(AM)「新旧役員で関係団体へ挨拶」の追加報告がありました。

4 合同役員会

県大会前の最後の機関会議になります。理事、研究部員、事務局員が一同に会して準備状況や、当日の動きなどを確認しました。また、参加者の中間集約をもとに分科会場を決定しました。

分科会	助言者	分科会場	参加予定者数
第1分科会	元熊本大学教授 (健康科学・公衆衛生学・化粧品学) 等 泰三	鶴屋ホール	124名
第2分科会 第1分散会	熊本市立出水中学校 校長 江尻 研一	パレアホール	92名
第2分科会 第2分散会	水俣市役所環境対策課 参事 緒方 卓也	パレア会議室1	72名
第3分科会 第1分散会	熊本県立教育センター 主幹 吉本 芳之	鶴屋ホール	131名

第3分科会 第2分散会	熊本高等学校 事務主査 鬼塚 徹	パレアホール	80名
----------------	---------------------	--------	-----

9月16日現在の参加予定者数

県外参加者の数はまだはっきりしませんが、現段階で参加者数が昨年度より約50名少ないので、各地区で参加（資料参加含む）の呼びかけを再度お願いすることになりました。

（午後：第2回理事会）

議長選出 熊本地区 軒口理事

5 議 事

1 総会等について

（1）開会・大会行事等の役割分担について

総会行事で理事が入れ替わり立ち代り報告するのは見苦しいのではないか。

予算案等で質疑を受けた場合に答えられる自信がない。理事会で承認をしているので本来は答えられるようにすべきだとは思うが。

進行表どおりに提案しなければならないのか。

以前のように事務局側で一括して提案することは考えられないのか。

といった意見が出ました。それぞれの議案は確かに事務局や研究部で素案は作成しますが、第1回理事会で承認をして、総会には理事会案として諮ります。総会は会員が県事務研を身近に感じてもらい機会でもあります。県事務研の組織を内外ともに確立させるためにも筋を通して理事が提案することにしました。但し、提案に関しては「その場で提案する」、質問については「会長が答える」また「進行表通りでなく各々の言葉で提案する」ということになりました。会長選考経過については、桑原前委員長から報告することになりました。

（2）当日のタイムスケジュール（理事）

（3）ステージ設営配置図

（4）大会行事・総会行事進行表

（2）（3）（4）についてはレジメをもとに細部の確認を行いました。

（5）大会行事時の動員について

大会行事の際、来賓の方々に失礼がないよう前方の席を埋めていただくべく、各地区6～7名の動員をお願いすることになりました。

（6）定期総会議案書について

議案書の中身についてはそれぞれの理事で目を通し、誤字・脱字等があれば、9月末までに事務局に連絡してください。

「1 総会について」 は 原案どおり承認しました。

2 役割分担等について

(1) 具体的な業務内容とタイムスケジュール

大会協力員へは、一般参加者より早く集合しなければならないので、集合時間を明記した学校長宛ての依頼文書も合わせて、業務内容のお手紙を9月中に発送します。また、反省会の案内も同封します。

(2) 大会協力員集合場所

案内図にて確認をしました。

「2 役割分担等について」 は 原案どおり承認しました。

3 役員の選出方法について

【副会長】

(問題点の整理)

以前の副会長は、会長に何かあった時に会長代理を務める。あるいは大会や総会時に開閉会を行うなど、そう大きな負担ではありませんでした。しかし、大会を県事務研で運営するようになって、来賓や助言者のお願いなどで実際に出向くことも出てきましたし、研究部担当の副会長は、理事会のほか研究部会にも出席しなければならないなど、負担が大きくなってきています。地区研の会長、県事務研の理事、その上に副会長という業務を担ってもらっている現状を考えた時に、これまでのように第1回理事会の折りに選出するというような方法でいいのかということが問題になっています。

県大会との絡みで、毎年1名は熊本市の理事に副会長になってもらい、もう1名はその他の地区でローテーションにする。

今まで通り理事の中から選ぶ。

会長選考の折に選考委員で選考してもらう。

研究部担当の副会長は特に負担が大きいので、理事以外からもってくることもやむをえないのではないかと。

経費の問題も考慮して、これ以上役員を増やすべきではない。

といった意見が出されましたが、もう少し時間がありますので、12月の理事会で再度検討することになりました。

【事務局長】【研究部長】

(問題点の整理)

研究部長については、まだ交代がありませんが、いずれは次期研究部長を選出する時期がくるかと思われます。事務局長については、これまではっきりした選出方法が定められていないまま交代が行われてきました。その折々で様々な方法で次期事務局長が選ばれてきましたが、ほとんど次期事務局長の選出については現事務局長が大きな責任を負っていた事実があります。換言すれば、次の事務局長を見つけなければ、事務局長を辞任できないようなシステムだったとも言える訳です。自らが次期事務局長を依頼するということになる、結局は見知った者同士が事務局長をつないでいくという結果になりかねません。より広い視野に立って、公平性、透明性、客観性のある選出方法が確立できないかということが指摘されています。

事務局、研究部の経験者の中から互選する。

会長の意向を尊重するという観点から、会長が事務局長を指名して、理事会の承認を得る。

以前のように、会長が出た地区から事務局長も連れてくる。

適任者を選ぶべきで、ローテーション等の選出方法を決めないほうがよいのではないか。

ルールを一つに決めると、いろいろ問題がでてくるので、選考主体をはっきりさせまるところだけきめておく。

といった意見が出されました。経験者から選ぶということになれば、事務局員や研究部員のなりてがなくなるだろうという懸念があります。事務局長、研究部長の選出方法についても副会長同様、12月理事会で再検討することになりました。次年度の役員選出までの期間を考えた場合、理事会後、すぐに選考に入らなければ間に合わないと思われるので12月理事会では基本線を確立したいと思っていますのでお考えおきください。

4 その他協議事項

(1) 会長選考委員の選考について

選考委員長(井手上恵理子)

選考委員 (池田 義信) (小島 光子) (深水 由貴子)

理事会終了後第1回選考委員会開催

(2) 来年度の研究大会日程

平成16年10月の第3週から11月の第2週の間で、他県の大会と重ならないようにし会場の空き具合をみながら決定することになりました。また、今年度は会員からの要望もあり、木金という期日の設定をしましたが、来年のカレンダーをみると難しいようです。木金にはこだわらないということも確認しました。

(3) 来年度の研究大会会場について

2日間とも同じ会場で大会を行うのは今年度初めてですが、分科会会場のことも考えると来年度も今年度と同じ会場で、県大会を開催する方向で進めていきたいと考えています。

(4) その他

機関会議の議事録は、ホームページ上で公開していきます。

5 事務必携について

12月の理事会で、研究部長より事務必携についてのアンケート集約結果を報告予定とのことです。

6 その他連絡事項

「事務職員の標準的職務」を一読して、大会当日会場へご持参ください。
現役員・旧役員で名前の読みの確認がとれていない方については、各地区で確認して10月9日までに事務局へ連絡をお願いします。
大会当日は「大会当日マニュアル」を作成してきます。
委任状は大会当日までに集約してください。
大会参加費、参加者集約のFDは9月末日を〆切としています。
会費は7月末を〆切としていましたが、会費納入者数が総会定足数の分母になります。
まだ納入されていない地区は、至急振り込んでください。
大会2日目に反省会を計画しています。大会協力員にはお手紙で御案内をしますが、分科会運営会議の折りなど、口頭でお誘いください。

議長解任

次回理事会 12月 11日(木)
(11日にできない場合は9日開催予定)